

プラトン Platon 427～347B.C.

古代ギリシアの哲学者。アテネの名門の家柄に、父アリストン、母ペリクティオネの子として生まれ、最初は政治家を志した。彼はソクラテスに強い影響を受けた。ソクラテスは三十人政権の指導者と親しかったという理由で刑死となったが、プラトンはこれを境に民主政に疑問を持つようになり、現実政治への進出を断念した。

その後、彼はエジプト・シチリアなどの諸国を約12年間にわたって歴訪する。専制君主政の実態を観察し自らの思想を深めた彼は、前387年、40歳でアテネに戻り、郊外にアカデメイアという学園を創設(この学園は以後900年間存続)した。青年たちに自分の理想と目的に沿った教育を施し、理想国家の統治者たるべき資格を具えた人間を養成しようと試みたのである。

このアカデメイアの学頭としてプラトンは後半生を過したが、前367年頃と前361年頃の二度、シチリア島のシュラクサイへと渡った。遍歴時代に知り合った愛弟子ディオオンが、プラトンの理想に沿った国政を実現したいと考え、若き君主(ディオニュシオス2世)の教育のために彼を招いたのである。しかしながら、彼は結局、哲人政治の実現を果たせなかった。二度目にシュラクサイを訪問した時には、反ディオオン派に監禁され、生命までも危険にさらしてしまう。苦勞してアカデメイアに戻った彼は、以後、弟子の教育と著述に専念し、80歳で没した。キケロは「プラトンは書きながら死んだ」と伝えている。

Great Books 10 饗宴(Symposion)

ソクラテスを主人公にしたプラトン中期の対話篇の一つで、彼の代表作。

約15年前の饗宴に参加したアリストデモスから聞いた話を、友人がアポロドロスに報告するという形で書かれている。プラトンの創作や独自性が多分に入っているため、伝聞の伝聞という間接的な形が取られた。

前416年、悲劇詩人アガトの、悲劇大会での優勝を祝う饗宴の場面から始まる。その席で**エロス(愛)**の神を順番に讃えようという提案がなされ、客人たちはアリストパネスなど実在の詩人たちの思想をおもしろおかしく模倣して「エロス」を讃美した演説を行った。そして最後に演説を行ったのがソクラテスである。

彼は、巫女ディオティマから聞いた話としてエロスの神話を語り、象徴的な演説を展開した。すなわち、エロスとは愛される者のことではなく、愛する者のことである。それは世界でもっとも美しいもの、すなわち智慧を求める愛をもつ愛智者(フィロソフォス)であり、かつ神と人間の間位置する神霊でもある。エロスは、父ポロス(策術の神)の性により望むものを手に入れることはできるが、その取得したもものは母ペニヤ(貧乏)の性により消え失せてしまうので、富裕になることがなく、また困窮することもない。それ故エロスは常に智慧を求める状態にあり、この姿がもっとも美しく見えるというのである。

この後、酔っ払ったアルキビアデスが乱入し、ソクラテス讃美の演説を行う。その演説は、知を愛する人ソクラテスへの賞賛の言葉であった。ソクラテスの知性と飽くなき探究心を賞賛したその言葉は、ソクラテス自身が語ったエロスの姿を連想させるものでもあった。

Great Books 11 国家 正義について(Politeia)

プラトンの中期の対話篇。全10巻の構成は、導入部分(1巻)、国家と個人における正義の定義(2～4巻)、理想的な国家と哲学者の役割(5～7巻)、様々な国家とそれに対応する人間の形態(8～9巻)、正義の報酬(10巻)となっている。

国の「統治」はどうあるのが最も善いのか、それは何を根拠として「善い」のか、これらの問題がソクラテスと複数の対話者によって調べられていく。「正直者は損をする」(正しく行動して損をするよりも、ずるい生きかたをして上手に世の中を渡っていく方が有利なのではないか)という議論や、「正義は支配階級の利益を守る」(施政者の利益を守るために動くことが正義といわれているのではないか)とい

った議論から始まり、国家の在り方、施政者の在り方、理想国家についてが語られ、「哲学者が王になる」か「現在王と呼ばれている人々が哲学者になる」必要がある(473D)という**哲人王の思想**が宣言される。そして、正義が現実世界では行われにくいこと、正義の人への善き報酬は現世においてではなく魂の不死による死後の世界で実現することなどが、神話や例え話を使って物語られている。

◆ *Great Books* 文献案内

- 📖 国家 上・下(岩波文庫) / 藤沢令夫(訳)
岩波書店 1979年刊 2冊 <I131/P° / 1~2> 資料番号 12249595, 12249603
- 📖 プラトン全集 全11巻 / 田中美知太郎, 藤沢令夫(編)
岩波書店 1973~1977年刊 <131.3/9/1~11>
* 5巻: 饗宴 / 鈴木照雄(訳) 11巻: 国家 / 藤沢令夫(訳)
- 📖 プラトン全集 全11巻 / 山本光雄(編)
角川書店 1973~1975年刊 <131.3/9/1~11>
* 3巻: 饗宴 / 山本光雄(訳) 7・8巻: 国家(上・下) / 山本光雄(訳)
- 📖 世界の名著7 プラトン2 / 田中美知太郎(編)
中央公論社 1969年刊 506p <080/5/7> 資料番号 12784252
* 国家 / 田中美知太郎(等訳)
- 📖 世界の名著6 プラトン1 / 田中美知太郎(編)
中央公論社 1966年刊 606p <080/5/6> 資料番号 12784245
* 饗宴 / 鈴木照雄(訳)
- 📖 饗宴(岩波文庫) / 久保勉(訳)
岩波書店 1965年刊 181p <I131/P° A> 資料番号 20960928
- 📖 世界古典文学全集 第14巻 プラトン1 / 田中美知太郎(ほか訳)
筑摩書房 1964年刊 524, 6p <908/29/14> 資料番号 11876125
* 饗宴 - 恋について / 鈴木照雄(訳)
- 📖 世界教育学選集30 国家 / 山田潤二(訳)
明治図書出版 1963年刊 245p <370.8/19/30> 資料番号 11085644
* 国家, 政治と教育

◆ 理解を深めるために 参考文献案内

- 📖 プラトンを読むために / トーマス・A・スレザーク(著) 内山勝利, 丸橋裕, 角谷博(訳)
岩波書店 2002年刊 228, 15p <131.3LL/117> 資料番号 21490651
- 📖 プラトン入門(岩波文庫) / R.S. ブラック(著) 内山勝利(訳)
岩波書店 1992年刊 339, 11p <I131/P°> 資料番号 20481933
- 📖 恋の形而上学(アウロラ叢書) / マルシーリオ・フィチーノ(著) 左近司祥子(訳)
国文社 1985年刊 336p <131.3T/25> 資料番号 12303236
- 📖 人類の知的遺産7 プラトン / 斎藤忍随(著)
講談社 1982年刊 323, 4p <280.8K/13/7> 資料番号 10497147
- 📖 プラトン 全4巻 / 田中美知太郎(著)
岩波書店 1979~1984年刊 <131.3L/11/1~4>
- 📖 プラトン(世界の思想家) / 藤沢令夫(編)
平凡社 1977年刊 238p <131.3H/12> 資料番号 10210185